

2026年度（後期）

藤田医科大学保健衛生学部臨床看護研修センター

看護師特定行為研修修了者
区分別科目追加履修

受講生募集要項



藤田医科大学
FUJITA HEALTH UNIVERSITY

目 次

1. 学校法人藤田学園 建学の理念	1
2. 藤田医科大学における特定行為研修目的・目標	
3. 臨床看護研修センター（本センター）の研修の特色	
4. 研修期間	
5. 出願資格	
6. 開講する特定行為区分と募集定員	2
7. 受講料	3
8. 実習施設について	
9. 区分別科目追加受講における共通科目の取り扱いについて	4
10. 看護師特定行為研修修了要件	
11. 応募方法	
12. 受講審査料納付方法	5
13. 選考方法及び日時	6
14. 合否発表	
15. 受講手続きについて	
16. 個人情報の取り扱いについて	
アクセス・フロアマップ	7
看護師特定行為研修の様子	9

1. 学校法人藤田学園 建学の理念

藤田医科大学の建学の理念は「独創一理」です。その精神はいつの時代でも揺らぐことがなく、時空を超えて通用する本学のコンセプトとして息づいています。

「独創一理」は多くの先輩たちがそうであったように、誰もがもつ創造力で新しい時代を切り拓いていく力となり得る、という考え方を示したものです。その真理に触れたとき、既成概念にとらわれない自由な発想と大きな可能性を与えてくれることでしょう。

本学には生命科学本来のアカデミズムがあります。多くの難問を抱えながらも、一つ一つに真摯に取り組み解決を見出す医療人を目指すなら、本学は最適の場です。21世紀の医療発展の道はここから始まります。

2. 藤田医科大学における看護師特定行為研修の目的・目標

本研修の目的は「独創一理」の建学の精神に基づき、今後ますます加速する少子超高齢社会において、安心で、安全かつ効果的な医療・看護を提供するために、急性期医療から在宅医療等を支えていく高度かつ専門的な臨床実践能力を発揮できる看護職を養成することです。

研修目標

- 1) 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上で必要な知識・技術・態度の基礎的能力を養う。
- 2) 患者の安心に配慮し、臨床判断を適切に行い、必要な特定行為を安全に実施できる基礎能力を養う。
- 3) 地域医療及び高度医療現場での問題解決に向けて、多職種と効果的に協働し、チーム医療の中心的な役割を果たせる看護職を育成する。

3. 臨床看護研修センター（本センター）の研修の特色

本センターでは、厚生労働省が定める4つのパッケージコースに加え、藤田独自の5つのモデルコースを設け、多様な医療現場のニーズに応じた特定行為研修を提供しています。

追加履修では、既に修得した特定行為研修を基盤として、必要な特定行為区分を選択し、さらなる実践力の向上を目指すことができます。講義は、自宅等で「全日病SQUE看護師特定行為研修」のeラーニングを活用し、区分別科目の演習は集合教育として実施します。区分別演習では、大学の強みを生かし、シミュレータを活用した実践的な演習を取り入れています。

実習は原則として研修生の所属施設で行い、追加履修した特定行為を所属施設において円滑に実践できるよう支援します。

4. 研修期間

後期：2026年10月5日(月) 開講

標準履修期間は6か月です。なお、実習施設や履修状況等により修了時期は異なります。

5. 出願資格

出願する時点で次の各号に定める資格をすべて満たしている者。

- 1) 本センターもしくは他の指定研修機関で看護師特定行為研修を修了しているもの。
- 2) 日本国内における看護師免許を有していること。
- 3) 看護師免許取得後、通算5年以上の実務経験を有していること。
- 4) 所属施設において特定行為の実践・協力が得られ、所属長からの推薦を受けられる者。

6. 開講する特定行為区分と募集定員 (17区分 定員：各区分 2名)

	特定行為区分	特定行為
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換
4	胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更
		胸腔ドレーンの抜去
5	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留意された穿刺針の抜針を含む。)
6	栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去
7	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心 静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
8	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷治療における血流のない壊死組織の除去
		創傷に対する陰圧閉鎖療法
9	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
10	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
11	透析管理関連	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
12	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
		脱水症状に対する輸液による補正
13	感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
14	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整
15	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
16	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
		持続点滴中の糖質輸液又は電解輸液の投与量の調整
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
17	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与
		抗精神薬の臨時の投与
		抗不安薬の臨時の投与

※以上の17区分から1つ以上を選択し、研修を受講します。

7. 受講料

受講料は、受講する区分別科目の受講料を合計した金額を、受講開始前に一括して納付していただきます。納付後の受講料は、原則として返還いたしません。

	区分別科目	受講料（税込）
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	30,000 円
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	90,000 円
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	30,000 円
4	胸腔ドレーン管理関連	40,000 円
5	腹腔ドレーン管理関連	30,000 円
6	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	30,000 円
7	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	30,000 円
8	創傷管理関連	105,000 円
9	創部ドレーン管理関連	22,000 円
10	動脈血液ガス分析関連	43,000 円
11	透析管理関連	40,000 円
12	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	60,000 円
13	感染に係る薬剤投与関連	90,000 円
14	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	52,000 円
15	術後疼痛管理関連	30,000 円
16	循環動態に係る薬剤投与関連	87,000 円
17	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	82,000 円

8. 実習施設について

看護師特定行為研修に必要な臨地実習は、原則として研修生の所属施設で実施します。所属施設で実習を行うためには、藤田医科大学保健衛生学部臨床看護研修センター看護師特定行為研修指定研修機関の協力施設として、厚生労働省への届出が必要となります。

なお、所属施設での実習実施が難しい場合は、個別に相談に応じます。協力施設の届出手続き等の詳細については、入講後にご案内いたします。

【協力施設になる条件】

1) 協力施設となるための条件

- (1) 病院、診療所、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等であること。
- (2) 所属施設で看護師特定行為研修に必要な指導者（医師及び看護師）が確保できること。

※指導者：医師の指導者を必ず含むこと。また、「臨床研修指導医」と同等以上の経験を有すること。

※同等以上の経験とは7年以上の臨床経験を有し、かつ医学教育・医師臨床研修における指導経験(研修医指導経験)があることを想定している。

看護師の指導者は、看護師特定行為研修を修了した看護師やこれに準ずる者として専門看護師、認定看護師及び大学等での教授経験を有する看護師など。

- (3) 所属施設の医療安全体制が整っており、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数(各特定行為における経験すべき症例数は5例)の確保ができること。

- (4) 指定研修機関と協力施設との間で、指導方針の共有や関係者による定期的な会議の開催等の緊密な連携体制を構築できること。
- (5) 指導者や実習症例の状況確認のために、必要時には適切な連絡・調整が可能であること。

9. 区分別科目追加受講における共通科目の取り扱いについて

1) 共通科目の履修免除

特定行為研修を修了しているため、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令（平成 27 年厚生労働省令第 33 号）の定める共通科目は履修免除とします。

2) 共通科目における学力確認

履修免除制度を利用する場合であっても、看護師特定行為研修に必要な共通科目の知識を確認するため、学力テストを実施します。

なお、結果に応じて必要な学習支援を行います。

10. 特定行為研修追加履修修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

- 1) 選択した区分別科目を履修し、観察評価及び筆記試験に合格すること。
- 2) 一部の科目については、実技試験に合格すること。
- 3) 臨床実習にて必要症例件数の経験及び合格すること

なお、本研修修了者は、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

11. 応募方法

1) 募集要項及び出願提出書類の請求方法

募集要項及び出願書類一式は、藤田医科大学 臨床看護研修センターのホームページ「看護師特定行為研修 募集要項」「出願提出書類」からダウンロードしてください。

藤田医科大学 臨床看護研修センター

検索



ホームページ：<https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/rinsyo-kango/>

2) 出願提出書類 ※提出された出願書類は返却いたしません。

- ① 志願書 (様式1)
- ② 履歴書 (様式2) 縦4cm×横3cm 最近6ヶ月以内に撮影した写真1枚貼付
必ず裏面に氏名を記入してください。
- ③ 志願理由書 (様式3)
- ④ 推薦書 (様式4)
- ⑤ 既修得科目履修免除申請書 (様式5)
- ⑥ 看護師免許証(写し) ※A4サイズで印刷し提出してください。
- ⑦ 特定行為研修修了証 (写し)
- ⑧ 書類審査及び学力試験合否結果送付用封筒
角形2号封筒 (A4サイズが折らずに入るもの) ご自身の住所・氏名を明記
530円切手貼付 (基本送料180円+簡易書留350円)
- ⑨ 受講審査料の振り込みが確認できる書類の写し

3) 出願期間

2026年6月15日(月)～2026年7月31日(金) 当日消印有効

4) 出願書類提出方法

出願提出書類①～⑨を折らない状態で封筒に入れてください。

封筒の表に「特定行為研修受講申請書在中」と朱書きで明記の上、「簡易書留」で下記まで郵送してください。

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98 外来棟6階
藤田医科大学 保健衛生学部 臨床看護研修センター

12. 受講審査料納付方法

- 1) 審査料 20,000円
- 2) 納付期間 2026年6月15日(月)～2026年7月31日(金)
- 3) 振込先 下記口座へお振込みください。

金融機関名：三井住友銀行(銀行番号：0009)

支店名：名古屋駅前支店(支店番号：402)

預金種目：普通

口座番号：0626775

口座名義：学校法人藤田学園 <カナ>：ガク) フジタガクエン

振込の際は、氏名の前に「トクテイ」を付けて、申請者本人名義でお振り込みください。(例：トクテイ フジタ ハナコ)

受講審査料の振込手数料は、申請者の負担となります。

※注意事項

- ・既納の受講審査料は原則として返還致しません。
- ・「振込受領証」をもって受講審査料の領収書とします。

1 3. 選考方法及び日時

1) 選考方法：書類審査及び学力試験

2) 試験日時：2026年8月13日（木） 10時開始

※ 9時30分までにお集まりください。

3) 場 所：藤田医科大学病院 外来棟6階 6-4セミナールーム

※公共交通機関をご利用ください。（患者用駐車場のご利用は原則できません）

※やむを得ず車で来られる場合は臨床看護研修センターまでご連絡ください。

※受付書などは郵送しません。

※状況によっては選考方法等に変更が生じる場合があります。

その場合、履歴書に記載されたメールアドレスもしくはお電話にてご案内いたします。

1 4. 合否発表

2026年8月20日（木）に発送

本人宛で簡易書留にて郵送します。

電話やFAXでの合否の問い合わせには応じられません。

1 5. 受講手続きについて

合否通知の際に、受講手続き及び研修受講料の振込についてご案内致します。

受講手続き及び研修受講料納入期間については、以下のとおりです。

受講手続き期間 2026年8月21日（金）～ 9月3日（木）

※2026年10月5日（月）に開講式を執り行う予定です。

1 6. 個人情報の取り扱いについて

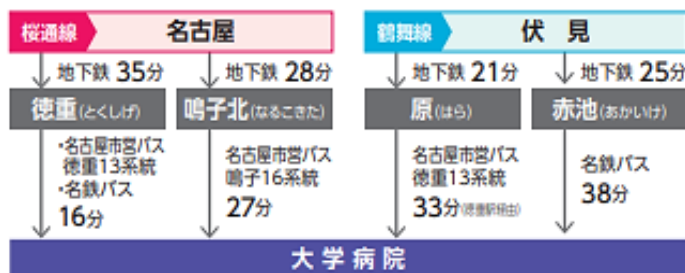
提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、当院における特定行為研修の手続き並びに入学後の修学指導など、これらに付随する業務においてのみ利用し、それ以外の目的では使用しません。

ACCESS

藤田医科大学(藤田医科大学病院)

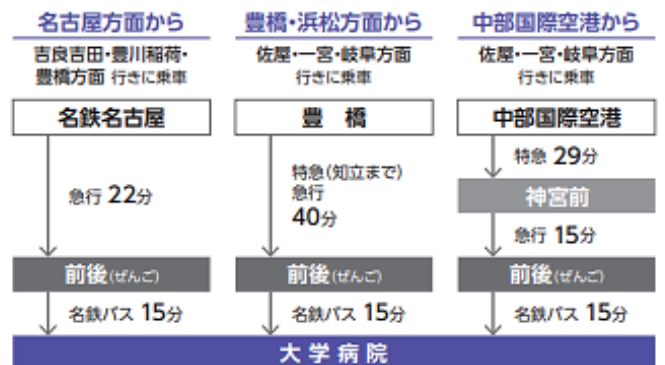


[名古屋市営地下鉄 利用の場合]



※名鉄バスは、「前後(藤田医科大学病院線)」行きにご乗車ください。
※所要時間は乗り換える待ち時間を含みません。最長の乗車時間になります。

[名鉄電車 利用の場合]



※名鉄バスは、「藤田医科大学病院」行き、または「赤池駅(藤田医科大学病院-地下鉄鶴舞線)」行きにご乗車ください。
(注)「赤池駅(祐徳寺線)」行きとお間違いないようご注意ください。

1F



外来棟 6階フロアマップ



藤田医科大学 看護師特定行為研修の様子

研修の一部をご紹介します。開講コース・受講料は P.2、P.3 をご参照ください。



共通科目

フィジカルアセスメント

高度な看護実践に必要な問診・視診・聴診・触診・打診などの観察技術を学び、患者の状態を的確に把握する力を養います。これらは臨床推論を行う上で重要な土台となり、緊急度や重症度の判断にも活用されます。

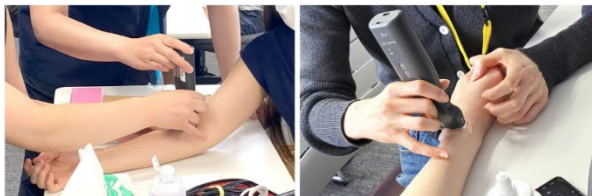
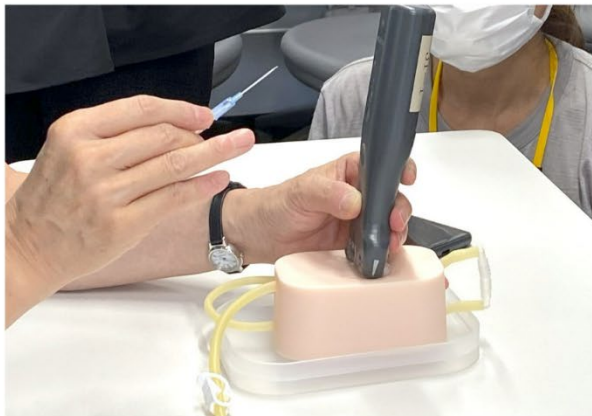
藤田医科大学で受けられるすべてのコースで受講可能

演習

身体診察基本手技の演習

実習

部位別身体診察手技と所見
適切な問診・意識の評価



特別演習

看護師のエコー実践

本学でパッケージ及び藤田モデルのコースを受講される場合は「看護師のエコー実践」をコース内で受講できます。エコーの基礎知識から血管・膀胱・直腸の観察やシュミレーターを使用したエコー下穿刺を学ぶことができます。

藤田医科大学で受けられるすべてのコースで受講可能

講義

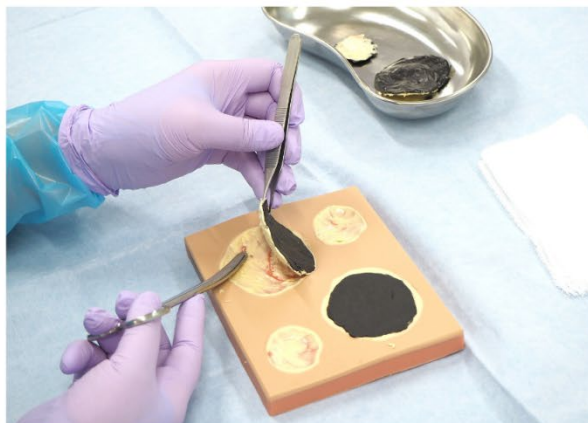
エコー装置の基礎知識
解剖・操作方法

演習

エコー下穿刺
血管の観察・腹部の観察

デブリードマン／陰圧閉鎖療法 創傷管理

創傷管理は、褥瘡及び慢性創傷の状態を分析する専門的な知識や対応力が必要です。藤田医科大学病院の皮膚科専門医の指導により、陰圧閉鎖療法とデブリードマンの知識と技術を習得することが可能です。



藤田モデル

慢性期病棟
創傷管理モデル

共通科目

e-ラーニング受講
集合教育・試験

区分別科目

e-ラーニング受講
集合教育・試験

OSCE

実技試験

実習

自施設 / 当施設

末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 PICC挿入

藤田医科大学病院でのPICC挿入件数は年間約2,000件にのぼり需要は年々増加傾向にあります。エコーや専用シュミレーターを使用した研修が受けられ、必要な医学的知識と技術を身につけることができます。



パッケージ

外科術後病管理
領域パッケージ

共通科目

e-ラーニング受講
集合教育・試験

区分別科目

e-ラーニング受講
集合教育・試験

OSCE

実技試験

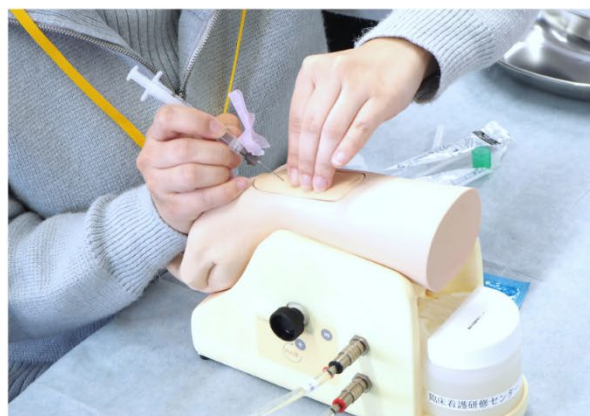
実習

自施設 / 当施設

動脈採血／動脈ラインの確保

動脈血液ガス分析関連

動脈血液ガス分析の基本的な理論や概念、患者の管理における役割について学びます。安全で正確に動脈を穿刺するため、エコーを用いた穿刺方法や動脈血液ガス分析の医学的知識と必要なスキルを身につけます。



パッケージ

免除あり
・ 外科術後病棟管理領域
・ 集中治療領域

- ・ 術中麻酔管理領域
- ・ 救急領域

藤田モデル

急性期・外科病棟管理モデル

共通科目

e-ラーニング受講
集合教育・試験

区分別科目

e-ラーニング受講
集合教育・試験

OSCE

実技試験

実習

自施設 / 当施設

中心静脈カテーテルの抜去

中心静脈カテーテル管理

中心静脈カテーテル管理は合併症が生じ得るリスクの高い医療行為です。医療安全の知識と中心静脈カテーテルの構造や抜去後の観察に至るまで丁寧に指導しています。研修は少人数制で受けられるため、指導者から間近で丁寧な研修を受けられます。



藤田医科大学で受けられるすべてのコースで受講可能

共通科目

e-ラーニング受講
集合教育・試験

区分別科目

e-ラーニング受講
集合教育・試験

実習

自施設 / 当施設

本件に関するお問い合わせ

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98 外来棟 6 階
藤田医科大学 保健衛生学部 臨床看護研修センター

責任者：相原 晶子

担当者：和田 真代

電 話：0562-93-2754

E-mail：rinsyo-kango@fujita-hu.ac.jp

